

新しい大学院教育に対する去り際の提言

5 年間ありがとう

21 世紀農学コロキウム 第 1 回 ワークショップ (ACT1)

2006 年 1 月 27 日

東京大学大学院 農学生命科学研究科

農業・資源経済学専攻 (D3)

有本 寛

aa37065@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

1 自己紹介

自己紹介

- 農業・資源経済学専攻 (D3), 去り際 (学位取得見込み)
- 「外様」: 修士から東大

研究内容

- 開発経済学, 農業史, 農業経済学
- 日本がまだ発展途上であった時期の農村に, どのような貧困・開発問題があり, それをどのように克服したのか
 - 途上国で起きていることは, たいてい日本でもあった
 - 戦前期岩手県の農村における不作 (やませ) への対処としての小作契約の選択
 - 日本の村落組織と貧困・開発問題への対応, など
 - ラオス農村金融の実態調査 (JICA のプロジェクト)

2 研究・教育面における農学生命科学研究科

強み

- 「手法」ではなく、農学という「対象」で集まった研究科
- オールラウンドに取り揃った専攻・研究室・教官陣
- ありがとう農学部図書館
- 素晴らしきオンライン・ジャーナル & 研究環境

弱み

- でも、その割にヨコの連携は少ない
- 留学生の受け入れ体制に改善の余地
- 研究成果の情報公開・社会還元は十分か？

ヨコの連携 と 社会のなかの大学院の位置と意義

3 AGRI-COON へ期待すること

1. 情報公開

- 研究成果の発信・社会還元，研究者の説明責任

2. 専門知の翻訳

- 証拠（evidence）に基づいた政策立案や世論形成への貢献
- 科学技術“解説者”養成コース：北大，東大，早大

3. ヨコ割り

- 「対象」による集積のメリットを活かした相乗効果
- 異分野の知見や「常識」の吸収と橋渡し
 - － 例）アジアにおける「消えた女性」とB型肝炎

4. 現場との繋がり

- 研究の意義のひとつの拠り所：社会との繋がり
- 実社会との繋がりを念頭においた教育・研究を

4 提案 1：Web マガジン（ポータルサイト）

- 日経サイエンス，ニュートンの農学・Web 版
- レポートや専門論文の翻訳・解説を Web サイトで公開
 - － レポート：「食肉の流通経路と BSE の関係について述べよ」
 - － 誰も読まないレポートより，1 億人が読む Web コンテンツ
 - － 期末レポート代わりに学生が作成，内容は教官がチェック
 - － 専門知識を分かりやすく翻訳・解説（新書レベル）
 - － 衆人環視で，コピペがすぐ発覚 不正防止効果も！
- 関連ニュースのクリッピング，まとめサイト（wiki を利用）
- 社会：科学ジャーナリズムの補完，証拠に基づいた議論
- 研究者：説明責任と社会還元
- 学生：専門知を分かりやすく伝達する練習に
 - － 一般市民の目線にたったコンテンツを！
 - － 専門家のこだわりは多くの人にとってはどうでもいいこと

5 提案 2：大学院の社会見学

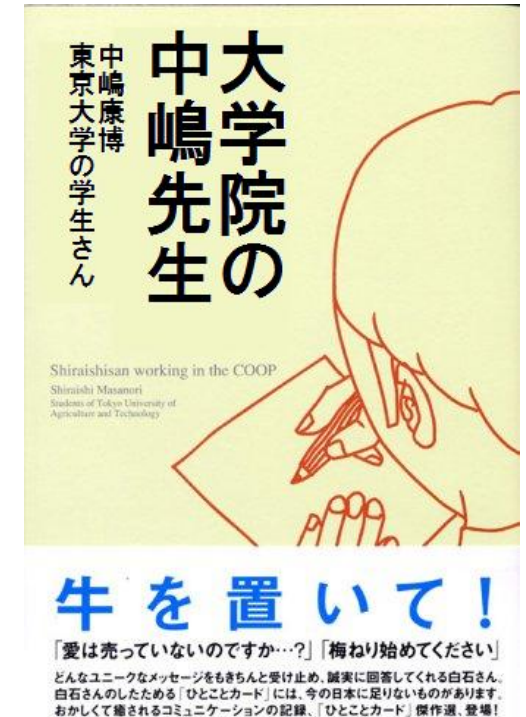
- 企業などと連携したインターンや見学会
- 「百聞は一見にしかず」：問題意識やモチベーションの触発
- 各 FG：夏休みを利用した中長期インターン
- AGC 全体：週末を利用した日帰りの社会見学会（隔週）
 - 例）工場：ビール，醤油，食肉加工，コンビニ弁当，製薬
農家，農場，牧場
- 企業訪問会
- 企業：アカデミアとの交流，宣伝
- 研究者・学生：研究のネタ探し，幅広い知識と教養の獲得

6 提案 3：開発援助センター

- 研究科で連携して開発援助プロジェクトを遂行，相談窓口
- 研究成果によってプロジェクトの効果・効率性を向上させ，逆に現場で得た情報を研究に還元
- JICA や開発コンサルタントと協力
 - 国立大学法人も JICA コンサルタント登録可
 - 技術協力：広島大学と（株）パデコが教育分野で JV
 - 連携協力協定：帯広畜産大学，北海道大学
 - 草の根技術協力：大阪大学，日本福祉大学，慶應大学など
- メリット
 - 現地受益者：より効果的なプロジェクト
 - 実務家：効果的なプロジェクト，現場理解の深化
 - 研究者・学生：現場に近い研究，調査研究のトレーニング
 - 一般市民：効率的な途上国の貧困・開発問題の解決

7 提案 4：大学院の中嶋先生

- 大学院教育の「ひとことカード」
- 学生の声の受け皿
- 「生協の白石さん」にインスパイア
- 学生は要望を「ひとことカード」に、中嶋先生は必ずリプライ（当然，書籍化）
- なぜ「ひとことカード」は成功？
 - 必ずリプライ
声が届いている実感がある
 - 不採用の場合は理由の説明を
 - 制度作ってインセンティブ入れず
優れた提案は表彰を
- 教官と学生の間で研究・教育を巡る真摯なやりとりができれば画期的



8 おわりに

ヨコにつながり、
社会につながる、
ひとにやさしい、
大学院教育を ♡